



【資料】各種調査結果/まちづくりに対する新市民の声と地域の強み
新市民の声を集める 3

有識者ヒアリング調査

地域内外の方から生の声を聞きました

8市町村に居住し、各地域を代表する有識者の方々11人に加え、外から見た地域像や将来の可能性を探る目的で、8市町村出身で地域外で活躍している有識者4人の方々に、くわしくお話をうかがいました。地域内外の視点から見た地域の強みや特性・地域資源を踏まえ、将来への期待や新市のあるべき姿、そして将来構想を策定する際の要望やご意見など、自由にお話していただきました。

地域の強みや特性・地域資源

地域の強みや特性

- 製造業を中心とした産業基盤・技術の蓄積がある
- 整備された先進的な農業基盤がある
- 多様な産業が、優秀な人材を資源に存在している
- 文教都市・文化都市としての施設や基盤が整っている
- 教育環境、教育的歴史史跡と優れた郷土文化がある
- 一部地域では地域活性化への住民の自主的な動きがある
- 繊維産業の新しい取り組み（高品質化・*川下進出）や事業主の自主的努力の姿勢
- 高齢化への取り組みに優れている

活用すべき地域資源

- それぞれ地域に優れた自然・伝統文化資源がある
各種史跡や寺院・牛の角突き・錦鯉・中山隧道・棚田・山菜・水棲動物、芝桜・かたくり群生・特徴的食物（とうがん・なんばん）・織物、手まり・鋸・和紙・地下資源（天然ガス）など
- 食文化（米・酒・のっぺ・他）や食品加工文化（あぶらげ・味噌など）
- 豊かな水、きれいな土と水
- 恵まれた道路と交通網

*川下進出：ユーザーの志向を製品化に活かす取り組み

将来構想策定に関する要望や意見など

- 独自性のある街のデザインが必要だ
「環境重視の田園都市的発展」
「産学協働による県央中核都市」
- ビジョンコンセプトとして「住む人に優しく、来る人に優しい」HUMAN CITYはどうだろうか？

有識者ヒアリング調査の実施概要

1. 調査期間 4月22日～5月22日
2. 対象者 地域在住者：11人 地域出身地域外在住者：4人
3. 質問事項
 - (1) 地域の現状・課題・特性・資源について
 - (2) 合併に対する期待や地域の役割について
 - (3) 新市の今後のあり方について

将来への期待や新市のあるべき姿

産業振興関連について

- 工業都市としての発展、「ものづくり」を中心とする産業振興・活性化が基本にあるべき
コンベンション・*エグジビション都市としての可能性もある
製造業の振興に向けた総合的な取り組み（産学協働による製品開発）
 - 農業基盤整備事業を継続してほしい
食品・農産加工業の振興と開発をするべき
 - 産官学の連携を図って産業振興に取り組んでほしい
 - 「食」をキーワードとする地域の活性化を（食の安全宣言、日常食の再発見と交流資源化）
- *エグジビション：展覧会・見本市など

生活関連について

- 8市町村相互の交流の拡大を図ってほしい（スポーツ交流など）
- 地域コミュニティ構築のための拠点を整備すべき
- 保育・育児の制度的支援を充実させてほしい（少子化対策）
- ごみの有料化を検討すべき
- 公共交通網を一層、整備してほしい
- 大学も含めて産業人材育成教育を行うべき
（オリジナリティ・創造性のある人間教育、農業体験、郷土歴史教育、地域産業理解）

文化関連について

- 地域の文化を掘り起こして、共有し、それをコミュニティ形成や活性化の材料にしてほしい
- 地域それぞれの文化を結びつけて、より大きな価値を持たせるしかけづくりをしてほしい
（大きなイベント+それぞれの祭り等）
- 地域文化・伝統芸能の保存のための施設を整備してほしい

行政のあり方について

- 多様な価値観や個性があることを前提に、個を大切にす制度や行政を！
- それぞれの地域らしさ・地域の良さを活かした活性化を図るべき
- 官と民のバランスが重要 「住民自治」の尊重
- 行政と住民の役割分担・関係を明確にする（民間でできることは、民間で行う、など）